

突然ですがクイズです!

【クイズ① 写真にある2匹の昆虫の関係は何でしょう?】

子どもたちに問いかけると「親子」「オスとメス」などの返答があります。正解は後にして、さらに第2問です。

【クイズ② チョウとガの違いは何でしょう?】

今までの生活を思い出して、少し考えてみてください。実際の子どもたちの解答例を記します。

①きれいな模様がチョウ、地味な模様がガ

② クイズを作ろう



2匹の昆虫の関係は?
(答えは記事中に)

- ② 昼間に飛ぶのがチョウ、夜飛ぶのがガ
- ③ 羽をたたんで止まるのがチョウ、ガは羽を広げる
- ④ ガは触角の形がクシのような形
- ⑤ チョウはイモムシ、ガはケムシ

思わず、答えを知りたくなる

正解は「チョウとガの違いはありません」。かいつまんで例外を記します。

②の例外として、夜に飛ぶチョウは存在しませんが、昼に飛ぶガは存在します。山登りをしていて

昼間にガを見つけたことはありませんか? ③の例外はタテハチョウ。タテハチョウの仲間には、通常時は羽をたたんで止まるきれいな模様を見せながらとまるものも多く、鳥などの天敵と出会うと羽を閉じ、地味な色合いの外側の模様で木の葉などに擬態します。同様に羽を開いて止まるチョウ、羽をたたんで止まるガもいます。

ここで【クイズ①】の答えです。上の大きな昆虫は「ジャコウアゲハ」というチョウ、下の小さな昆虫は「アゲハモドキ」という名前の方となります。これだけ似た2匹も一方はチョウ、一方はガとなるのです。詳しく知りたい方は、京都市青少年科学センターの「チョウのふしぎ」のコーナーに行ってみてください。

日常生活の中で見かけたチョウやガとの関わりの経験を思い出し、学び始めるきっかけをつくることができます。そして、答えが分かった時に思わず言いたくなり、答えがわからなくても、答えを知りたくなり、主体的に参加してくれます。

このように全て答えを求めるクイズにしなくても、子どもたちが思わず答えを考えたいくなる問いを授業や育児の場面でちりばめると意識すれば、子どもたちが「思考し続ける」環境となり、その中で「わかった」「伝えたい」などの思いが生まれれば、いつの間にか自然に知識がつく学びとなります。